

みょうほうれんげきよつ かんじほん だいじゅうさん  
妙法蓮華經。勸持品。第十三

にーじやくおうぼーさつまーかーさつ ぎむうだいぎようせつ ぼーさつまーかーさつ よーにーまんぼーさつけんぞくー  
爾時藥王菩薩摩訶薩。及大樂說。菩薩摩訶薩。與二萬菩薩眷屬俱。  
かいおーぶつぜん さーぜーせいこん ゆいがんせーそん ふーいーいーりよ ーがーとうおーぶつめつこー とうぶーじーどくじゆ  
皆於佛前。作是誓言。唯願世尊。不以為慮。我等於佛滅後。當奉持讀誦。  
せつしーきようでん こーあくせーしゆじょう ぜんこんでんししよう たーぞつじょうまん とんりーくーよつ ぞうふーぜんこん  
說此經典。後惡世衆生。善根轉少。多增上慢。貪利供養。增不善根。  
おんりーげーだつ すいなんかーきようけー ーがーとうとうきーだいにんりき どくじゆしーきよう じーせつしよしゃ しゆじゆくー  
遠離解脫。雖難可教化。我等當起大忍力。讀誦此經。持說書寫。種種供  
よう ふーしゃくしんみよう にーじーしゆちゆう ーこーひやくあーらーかん とくじゆきーしゃ びやくぶつこん せーそん  
養。不惜身命。爾時衆中。五百阿羅漢。得受記者。白佛言。世尊。  
がーとうやくじーせいがん おーいーこくどー こつせつしーきよう ぶーうーがくむーがく はっせんになん とくじゆきーしゃ  
我等亦自誓願。於異國土。廣說此經。復有學無學。八千人。得受記者。  
じゆうざーにーきー がつしようこうぶつ さーぜーせいこん せーそん ーがーとうやくとう おーたーこくどー こつせつしーきよう  
從座而起。合掌向佛。作是誓言。世尊。我等亦當。於佗國土。廣說此經。  
しよいーしゃがー ぜーしゃばーこくちゆう になたーへいあく えーぞつじょうまん くーどくせんばく しんじよくてんこく  
所以者何。是娑婆國中。人多弊惡。懷增上慢。功德淺薄。瞋濁諂曲。  
しんぶーじつこー にーじーぶつちーもー まーかーはーじやはーだい(びく)にー よーがくむーがく(びく)にー ろくせんになんくー  
心不實故。爾時佛姨母。摩訶波闍波提比丘尼。與學無學比丘尼。六千人俱。

從座而起。一心合掌。瞻仰尊顏。目不暫捨。於時世尊。告憍曇彌。

何故憂色。而視如來。汝心將無謂。我不說汝名。授阿耨多羅三藐三

菩提記耶。憍曇彌。我先總說。一切聲聞。皆已授記。今汝欲知記者。

將來之世。當於六萬八千億。諸佛法中。為大法師。及六千學無學比丘

尼。俱為法師。汝如是漸漸。具菩薩道。當得作佛。號一切衆生喜見如來。

應供。正徧知。明行足。善逝。世間解。無上士。調御丈夫。天人師。佛。

世尊。憍曇彌。是一切衆生喜見佛。及六千菩薩。轉次授記。得阿耨

多羅三藐三菩提。爾時羅睺羅母。耶輸陀羅比丘尼。作是念。世尊。於

授記中。獨不說我名。佛告耶輸陀羅。汝於來世。百千萬億。諸佛法中。

修菩薩行。為大法師。漸具佛道。於善國中。當得作佛。號具足千萬

こうそつによらい おつぐー しょうへんちー みようきようそく ぜんせい せーけんげー むーじようじー じようこーじようぶー  
光相如來。應供。正徧知。明行足。善逝。世間解。無上士。調御丈夫。  
てんにんしー ぶつ せーそん ぶつじゆむりよう あーそつぎーこう にーじーまーかーはーじやーはい(びく)にー  
天人師。佛。世尊。佛壽無量。阿僧祇劫。爾時摩訶波闍波提比丘尼。  
ぎゅうやーしゆだーらー(びく)にー びようこーけんそく かいだいかんぎー とくみぞううー そくおーぶつぜん にーせつげーこん  
及耶輸陀羅比丘尼。并其眷屬。皆大歡喜。得未曾有。即於佛前。而說偈言

せーそんどうしー あんノん てんにん がーとうもんきー しんなんぐーそく  
世尊導師 安穩天人 我等聞記 心安具足

しよびーくーにー せつぜーげーいー びやくぶつこん せーそん がーとうやくのう おーたーほうこくどー こうせんしーきよう  
諸比丘尼。說是偈已。白佛言。世尊。我等亦能。於佗方國土。廣宣此經。  
にーじーせーそん じーはちじゅうまんノく なーゆーたー しよほーさつまーかーさつ ぜーしよぼーさつ かいぜーあーゆいおつちー  
爾時世尊。視八十萬億。那由佗。諸菩薩摩訶薩。是諸菩薩。皆是阿惟越致。  
てんふーたいほうりん とくしよ(だち)にー そくじゆつざーきー しーおーぶつぜん いっしんがっしよつ にーさーぜーねん  
轉不退法輪。得諸陀羅尼。即從座起。至於佛前。一心合掌。而作是念。  
にやくせーそん こうちよくがーとう じーせつしーきようしや とうによぶつきよう こうせんしーほう ぶーさーぜーねん  
若世尊。告敕我等。持說此經者。當如佛教。廣宣斯法。復作是念。  
ぶつこんもくねん ふーけんこうちよく がーとううんがー じーしよぼーさつ きようじゆんぶつちー びようよくじーまんほんがん  
佛今默然。不見告敕。我當云何。時諸菩薩。敬順佛意。并欲自滿本願。  
べんノーぶつぜん さーしーしーくー にーほつせいこん せーそん がーとうおーによらいめつこー しゆせんおうへん  
便於佛前。作師子吼。而發誓言。世尊。我等於如來滅後。周旋往返。

十方世界。能令衆生。書寫此經。受持讀誦。解說其義。如法修行。  
 正憶念。皆是佛之威力。唯願世尊。在於他方。遙見守護。即時諸菩薩。  
 俱同發聲。而說偈言

唯願不爲慮 於佛滅度後 恐怖惡世中 我等當廣說  
 有諸無智人 惡口罵詈等 及加刀杖者 我等皆當忍  
 惡世中比丘 邪智心 諂曲 未得謂爲得 我慢心 充滿  
 或有阿練若 納衣在空閑 自謂行眞道 輕賤人間者  
 貪著利養故 與白衣說法 爲世所恭敬 如六通羅漢  
 是人懷惡心 常念世俗事 假名阿練若 好出我等過  
 而作如是言 此諸比丘等 爲貪利養故 說外道論議

自作此經典 誑惑世間人 爲求名聞故 分別說是經

常在大衆中 欲毀我等故 向國王大臣 婆羅門居士

及餘比丘衆 誹謗說我惡 謂是邪見人 說外道論議

我等敬佛故 悉忍是諸惡 爲斯所輕言 汝等皆是佛

如此輕慢言 皆當忍受之 濁劫惡世中 多有諸恐怖

惡鬼入其身 罵詈毀辱我 我等敬信佛 當著忍辱鎧

爲說是經故 忍此諸難事 我不愛身命 但惜無上道

我等於來世 護持佛所囑 世尊自當知 濁世惡比丘

不知佛方便 隨宜所說法 惡口而鬪蹙 數數見擯出

遠離於塔寺 如是等衆惡 念佛告敕故 皆當忍是事

諸聚落城邑しよじゅらくじょうおつ 其有求法者ごうごほつしゃ 我皆到其所がいかいとうごしよ 說佛所囑法せつぶつしよぞつぽう  
我是世尊使がぜいせいそんし 處衆無所畏しよしゆむしよい 我當善說法がとうぜんせつぽう 願佛安穩住がんぶつあんんじゆう  
我於世尊前がおいせいそんぜん 諸來十方佛しらいじつぽうぶつ 發如是誓言ほつによぜいせいごん 佛自知我心ぶつじちいがしん